

医科学 見聞録

公認スポーツデンティストとは

公益社団法人 山口県歯科医師会 常務理事
松浦歯科医院（山口市） 院長 松浦哲郎

みなさんは日本体育協会（以下、日体協）公認の『スポーツデンティスト』という存在を御存知でしょうか。

日本歯科医師会（以下、日歯）の働きかけにより、スポーツにおける「**歯および噛み合わせの大切さ**」、「**スポーツの安全性を高めるマウスガード**」の必要性を文部科学省が認め、日体協と日歯の共同実施による公認スポーツデンティスト養成事業が平成 25 年度から開催されています。2 年間で 46 単位の養成講習と資格審査を経て、来年度資格審査を得るべく全国から約 70 名の受講生（第一期）が研鑽しています。

公認スポーツデンティストの養成目的は、さまざまなスポーツの現場においてアスリートのパフォーマンス維持向上をはじめとして、地域住民のスポーツを通じた健康づくりを支援し、健康寿命の延伸、QOL の維持向上等に寄与できるよう、スポーツ歯科に関する高い実践能力を有する人材を確保し、スポーツ歯科分野のレベルアップを図ることです。

その役割は、スポーツドクターやコーチ等との緊密な連携の下、歯科医師の立場からスポーツを行う人に対する健康・安全づくりの支援と競技力の維持・向上の支援。そして歯科口腔領域のスポーツ外傷・障害に対する予防、診断、リハビリテーションなど。さらには競技会等の医事運営の支援並びにチームデンティストとしての参加も予定されています。

養成が始まったばかりのスポーツデンティストですが、将来的には 1000 名程度養成することが計画されています。ちなみにスポーツドクターは現在 5500 名（実働は半数）います。

正式に公認スポーツデンティストが誕生した際には、都道府県体育協会、また体育協会傘下の各競技団体、関係各種（スポーツドクター、コーチ、トレーナー等）との連携を構築し、競技者に福音をもたらす存在になることでしょ。

2019 年に開催されるラグビーワールドカップ、さらには 2020 年東京で開催されるオリンピック・パラリンピックに向けて、スポーツデンティストのさらなる活動範囲の拡大が期待されます。

